

1. 戦略の概要

(1) 背景・目的

- ・国内外の旅行需要が急速な回復傾向にある一方、「全国的な人手不足や人口減少による今後の国内市場の縮小などの新たな課題」「コロナ禍を経た旅行者の行動や意識変容など、旅行者のニーズの多様化」が生じている。
- ・今後の観光振興の取組強化のための基本的指針として、各種分析に基づき戦略を策定

(2) 期間・位置づけ

【期 間】 令和6(2024)年度～令和13(2031)年度

【位置づけ】 次期総合計画の理念・目標実現に向けた、観光振興のための分野別計画

2. 戦略の目指す姿（ビジョン）及び方向性

(1) 本市観光のビジョン

訪れる人が、暮らす人と共に上質なときを創るまち くまもと

【ビジョンの趣旨】

熊本市は、美味しい水と自然に恵まれ、また、本市の観光を象徴する熊本城や水前寺成趣園をはじめ、古くから受け継がれた歴史や文化が今も息づいており、この豊かな地で生まれ育った、人情味に溢れる“ひと”が暮らすまちです。この戦略では、訪れる人が、暮らす人のおもてなしに触れ、こころのつながりを感じながら、熊本ならではの魅力を心ゆくまで体感し、上質なときを創ることができる、だれもが訪れたいまちを目指します。

(2) ビジョン達成のための基本方針

1 世界に選ばれる観光都市・熊本の創造

熊本城をはじめとする観光資源の魅力向上や高付加価値化を図り、観光都市・熊本の創造に取り組みます。

2 訪れる人に優しい滞在環境の構築

目的地までの移動の円滑化、快適で安心・安全な滞在環境の構築に取り組み、旅行者の満足度向上を図ります。

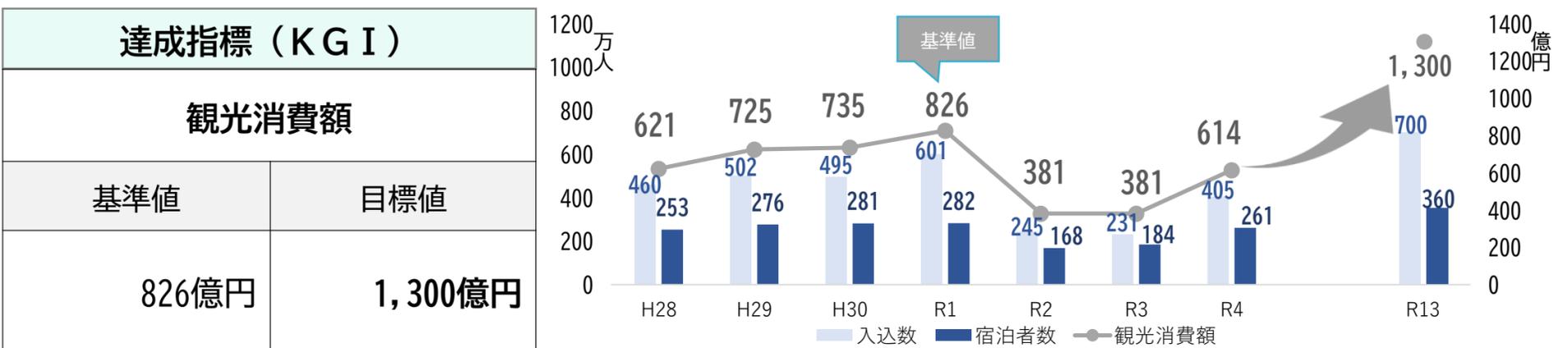
3 強みを活かした戦略的な誘客促進

市場調査を踏まえたニーズ把握や、戦略的なプロモーション、熊本ならではのMICEの推進などに取り組みます。

4 観光振興を通じた熊本市の活性化

観光産業の経営基盤強化や持続可能な観光まちづくりにより、観光振興を通じた本市の活性化を図ります。

(3) 目標値



評価指標 (KPI)

基本方針	①旅行需要の回復、発展にかかる指標 (観光消費額 (KGI) の構成要素となる定量的指標)		②持続可能な観光の推進にかかる指標 (旅行者満足度や観光振興と市民生活との両立等に関する定性的指標)		
	基準値	目標値	基準値	目標値	
1	<ul style="list-style-type: none"> 熊本城入園者数 中心市街地の通行量 	1,303,929人/年 662,742人	1,800,000人/年 829,000人	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の推奨意向 	43.1% 60%
2	<ul style="list-style-type: none"> 延べ宿泊者数 	2,819,249人/年	3,600,000人/年	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の満足度 	62.5% 80%
3	<ul style="list-style-type: none"> 観光客入込数 コンベンション参加者数 	6,014,000人/年 139,053人/年	7,000,000人/年 190,000人/年	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の再訪意向 	63.4% 80%
4	<ul style="list-style-type: none"> 観光消費単価 	国内宿泊客 19,069円/人日 海外宿泊客 33,305円/人日	23,000円/人日 40,000円/人日	<ul style="list-style-type: none"> ①経済活性化や生活向上、 ②観光資源の保全・継承への寄与に対する市民意識 	① 57.3% ② 53.0% 70% 70%